

令和2年度事業報告書

社会福祉協議会では、「住みやすく支え合いを実感できるまちづくり」を基本理念として掲げ、住みやすい環境で、地域の人がお互いに支え合い、だれもが生涯輝いて暮らせる地域を目指し活動してきました。

複合的な課題が山積する昨今、住民同士のつながりか希薄化していく中、福祉ニーズも多様化し、地域住民や諸団体の参加と協力、協働による多様な福祉活動や福祉サービスの一層の充実が求められています。

また、近年の福祉を取り巻く環境は、少子・高齢社会の進展や人口減少、ひとり暮らし高齢者や高齢夫婦のみ世帯の増加など家族形態の変容による家族内の見守りや介護機能の低下、地域連帯感の希薄化によるコミュニティの脆弱化が危惧される中で、生活困窮、孤独死、消費者被害など、地域からの孤立を起因とする様々な生活課題が現れ、その問題が多様化、深刻化しています。また、従来の制度や法の枠組みの中では十分に対応できない制度の狭間への取り組みなど、災害時の活動も含めて社会福祉協議会の取り組むべき課題は大きくなっています。

こうしたことから、地域のなかで不安を抱える人が孤立することのないよう、そこに住む住民がみんなの問題の解決に向けて考え、支え合い、助け合いながら自分にできる範囲で活動できる仕組みを広め、また発掘し、地域の福祉力を高める活動を、市内8地区において行政及び関係する団体と共に進めている地域支え合い協議体のなかでも盛んに議論されています。

社会福祉協議会は、公的な福祉サービスだけでは対応できない生活課題や、公的な福祉サービスでの総合的な対応が不十分であることなどから生まれる問題等を、藤岡市はもとより関係機関や関係団体等との緊密な連携を図りながら令和2年度事業計画で定めた重点事業である「法人運営の在り方について」「総合相談窓口の対応について」「成年後見センターの設置に向けた取り組み」「さくらの家の利用者の通所率向上について」等に努め以下の事業を実施いたしました。

1. 会員の状況

普通会員	19,806世帯
賛助会員	166世帯
特別賛助会員	325社

2. 理事会・評議員会等開催状況

理事会	3回	決議の省略2回
評議員会	3回	決議の省略2回
監査会	1回	
総務委員会	2回	
広報委員会	3回	
評議員選任・解任委員会	1回	

3. 広報活動

(1) 広報紙「ふじおか社協だより」の発行

地域福祉の推進と啓発を目的に、本会の各種事業や募集等の情報を掲載した広報紙を発行しました。A4 2色8ページの広報紙を5月・9月・1月の年3回にわたり、市内全戸及び特別賛助会員並びに関係機関に配布しました。

また、より身近な話題をタイムリーに発信するため、臨時号を11月・3月の2回にわたり、回覧として配布しました。

(2) ホームページ管理運営

事業計画及び事業報告並びに計算書類等の掲載の他、各種事業の募集等を広く市民に発信するために、本会ホームページの適切な管理運営に努めました。

4. 指導・育成

①本会役職員の研修について

内部研修の他、他機関の研修会等への参加を通して資質の向上や知識の習得に努めました。

②実習生の受入れ

次世代を担う人材を育成するため、実習生の受入れを行いました。対象は藤岡市在住、在勤、在職者で、社会福祉士養成における相談援助実習や教員の介護現場実習等、資格や単位取得に向けた内容の他、学生の体験学習の受入れも行いました。

5. 地域福祉活動

心配ごと相談や結婚相談を定期的で開催し、社会不安の解消や結婚活動の相談等に努めました。

事業名	開催日数	相談件数	紹介件数	成立件数
心配ごと相談事業	20日	22件	—	—
結婚相談事業	27日	142件	8件	1件

◇ 成年後見・相続・遺言に関する無料相談会

・コスモス成年後見センター（行政書士）と協力して、専門的な相談に応じました。

相談件数	35件
------	-----

6. 善意銀行

市民の善意に基づく金品の寄付を受けました。

種類	件数	金額	摘要
一般寄付	13件	945,043円	
愛の募金	2件	19,152円	
物品	47件	—	ポッチャ、スカットボール、食品、タオル、介護用品、手編み衣類、その他日用品等

7. 福祉関係団体助成

福祉関係団体等との連携を図り活動の推進に努めると共に、民生委員児童委員協議会、連合婦人会、子ども会育成会、保育園長会、支部社会福祉協議会に助成を行いました。

8. 収益事業

自動販売機清涼飲料水売り上げ代

・収益金 88,420円

9. 歳末たすけあい運動

「みんなで支え合う温かい地域づくり」を目指して、毎戸100円以上のたすけあい募金をお願いしました。

地区名	令和元年度	令和2年度	前年対比
藤岡	444,860円	460,460円	15,600円
神流	256,500円	256,500円	0円
小野	366,800円	377,600円	10,800円
美土里	233,000円	234,500円	1,500円
美九里	161,100円	161,500円	400円
平井	124,400円	128,100円	3,700円
日野	53,700円	52,400円	△1,300円
鬼石	198,630円	194,210円	△4,420円
合計	1,838,990円	1,865,270円	26,280円

10. 各種援助活動

生活が困窮している社会的弱者及び新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活資金でお悩みの方を対象に、群馬県社会福祉協議会と連携のもと、相談支援や資金の貸付を行い安定した生活が送れるよう制度の推進に努めました。

(1) 貸付、給付事業

生活福祉資金貸付事業	件数	貸付額
総合支援資金（離職者支援資金含む）	0件	0円
福祉資金（福祉費）	0件	0円
〃（緊急小口資金）	2件	128,000円
教育支援資金	2件	830,000円
不動産担保型生活資金	0件	0円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0件	0円
臨時特例つなぎ資金	0件	0円
コロナ特例貸付 緊急小口資金	459件	86,340,000円
コロナ特例貸付 総合支援資金(延長含)	415件	224,521,000円
コロナ特例貸付 総合支援資金再貸付	34件	18,900,000円
合計	912件	330,719,000円

独自制度	件数	貸付額
小口生活資金貸付事業	0件	0円
緊急時食料支援事業	3件	8,663円

(2) 災害見舞い

種別	件数	見舞金詳細
災害見舞い	1件	全焼(全壊) 10,000円/1件につき 1件
		半焼(半壊) 5,000円/1件につき 0件
		死亡 10,000円/1人につき 0件

(3) 行旅者救済

種別	件数	金額	備考
行旅者救済	2件	600円	300円/1件につき

11. 日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方が安心して生活ができるよう、日常的な金銭管理や通帳預かり等の支援を行いました。また、適切な支援を行うことが出来るよう、生活支援員の資質向上に向けた研修会等を開催しました。

・実施状況

実利用者数	39人
延べ利用者数	377人
相談件数	1,169件
新規契約件数	3件

※内訳：認知症高齢者2件、精神障害者1件

・生活支援員

登録数	延べ稼働時間	賃金
24人	451.5時間	1,000円/1時間

12. 生活困窮者自立支援事業

藤岡市より生活困窮者自立支援事業の委託を受け、就労の支援その他の自立に関する問題について生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行いました。

新規相談件数	相談支援事業申込件数	プラン作成件数	支援調整会議開催回数
536件	234件	44件	6回

◇ 低所得者世帯を中心に、児童が安心して学習に取り組めるよう、就学支援の一環として、各家庭で不要となった制服を無償で提供していただき、必要とされる児童に活用していただくため「制服バンク事業」の実施を行いました。

・受入制服数 8着

13. 生活支援体制整備事業

藤岡市より生活支援体制整備事業の委託を受け、地域における支え合いの体制づくりの推進を目的として、各地区協議体や第一層に係わる会議の開催、協議体委員を対象とした研修会の開催等を行いました。

開催内容	開催数
各地区協議体（市内8地区）	36回
第1層分科会（第1～2分科会）	8回
第1層全体会	1回

・NO密みまもりプロジェクト「マスクで安心・つながりマスク」

市民の皆様へ、マスクの材料やマスクの提供の呼びかけを行い、手作りマスクの製作をお願いするなどし、地域の方へマスクを届けながら見守りを実施しました。

手作りマスク数 2,073枚 うち、1,988枚を配布

既製品マスク数 891枚 うち、631枚をボランティアに配布

・地区別福祉情報交換会の実施

市内8地域で活動している地域支え合いの協議体の委員と支部社協の構成員との情報交換会を実施し、地域での活動について意見交換を行いました。

藤岡地区 令和3年3月16日（火）・神流地区 令和3年4月22日（木）実施予定

小野地区 令和3年2月15日（月）・美土里地区 令和3年3月26日（金）

美九里地区 令和3年2月25日（木）・平井地区 令和3年3月29日（月）

日野地区 令和3年2月9日（火）・鬼石地区 令和3年3月4日（木）

14. 総合相談窓口

総務課内に相談窓口を開設し、誰にも助けを求められずに、社会的に孤立している人や制度の狭間で支援を受けられない人などに対し、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が様々な生活課題を抱える世帯への相談支援を行いました。

・実施状況

開所日数	相談件数		CSW 活動(研修,会議,周知等)
246日	新規件数 84件	延件数 414件	114件

・相談件数内訳

相談内容	件数	相談内容	件数
病気や健康・障害のことについて	11件	生活費について	19件
就労、仕事上の不安等について	2件	衛生環境のことについて	2件
家族との関係について	13件	地域との関係について	3件
ひきこもり・不登校について	5件	介護関連のことについて	4件
住まいについて	3件	生活福祉資金について	1件

税金や公共料金等の支払について	1件	債務について	1件
子育てについて	1件	食料について	1件
DV・虐待について	1件	その他	16件

コミュニティソーシャルワーカー活動内容（研修、会議、周知活動等）

各種研修・講演 会等参加	研修会講師	自立相談支援事 業支援調整会議	各種会議、打合 わせ等への参加	行政書士と協働 した相談会
2回	3回	3回	14回	10回
関係機関等への 周知活動	民児協定例会へ の参加	障害者自立支援 協議会への参加	子どもの居場所 づくり活動	その他
7回	62回	3回	6回	4回

15. 高齢者自立センター事業

介護認定審査により、要介護認定結果が非該当で介護予防が必要と認められた高齢者を対象に、事業を推進しました。

	事業名	実施日数	延べ利用者数
藤岡市高齢者 自立センター藤岡	デイサービス事業	85日	953人
	ホームヘルプ事業	207日	602人
	転倒骨折予防	26日	121人
	短期集中トレーニング	13日	58人
藤岡市高齢者 自立センター鬼石	デイサービス事業	83日	366人
	ホームヘルプ事業	144日	159人
	転倒骨折予防	26日	97人
	短期集中トレーニング	15日	44人

16. ミニデイサービス事業

概ね70歳以上の高齢者を対象に市内69会場でミニデイサービスを開催し、地域で暮らす高齢者の介護予防に努めました。

延べ利用者数	2,341人
会場数	69会場
一会場年平均人数	33.93人

17. 学童保育所運営事業

仕事などの事情で昼間保護者がいない家庭の児童を預かる「みどの学童クラブ」の運営を市から委託を受け行いました。

開所日数	280日
登録児童数	40人

18. 栗須の郷運営事業

浴場の利用やレクリエーションの場等を提供して、市民福祉の向上に努めました。

開所日数	257日
延べ利用者数	35,042人(内・市民30,091人 市外4,951人)
一日平均人数	136.35人

19. ふれあい型食事サービス事業

住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的とし、地域のボランティアを中心に70歳以上で近隣に子供のいない虚弱な高齢者等へ、食事を配達しながら安否確認を行いました。孤独感の解消を図るとともに、地域住民の福祉活動に対する意識を高め、近隣でのたすけあいの輪が広がりました。

実施地区	実施日数	延べ配食数	備考
藤岡地区	36日	1,229食	月4回(第1～4木曜日)
鬼石地区	19日	108食	月2回(第2・4木曜日)

20. ボランティアセンター

総務課内に「ボランティアセンター藤岡」を設置し、平日に加え第一土曜日も開所することで相談機能の強化を図りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、グループ間の交流や、各種講習会、研修会等の開催を行うことができなかった。

登録団体数	29団体(延842人)
個人ボランティア登録数	12人

◇ 点訳奉仕者養成講座 体験コース 3日間 延べ参加者数 6人参加

21. 老人福祉車(手押し車)の一部購入補助事業

老人福祉の向上を目的に、高齢者の日常生活を支援するため、老人福祉車(手押し車)を購入する費用の一部を助成しました。

- ・補助台数 35台
- ・助成額 175,000円(1台につき5,000円を補助)

22. 福祉車両貸出事業

藤岡市より福祉車両貸出事業の委託を受け、介護を必要とする高齢者や障害者等に、車いすごと乗降可能な自動車を貸し出し、社会参加と生活圏の拡大を図ることを目的とした事業を行いました。

- ・貸出件数 27件

23. 福祉教育推進事業

児童・生徒が体験学習の機会を通じて、社会福祉への理解と関心を高めると共に、日常

生活面での相互扶助、社会連帯が大切なことを認識してもらうため、小・中学校生を対象に福祉教育の推進を図りました。また、高齢者疑似体験用具の貸出や実習実施の際にも福祉教育の推進に努めました。

24. 安心カード交付事業

緊急連絡先、かかりつけ医、服薬等の情報を記載したカードを冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時や急変時に対応が出来る、安心・便利な「安心カード」の配布を行いました。

この事業は平成24年度から、藤岡市民生委員・児童委員協議会と共催で実施しています。

・累計配布状況

配布先	世帯数
65歳以上一人暮らし世帯	1,284世帯
障害者（児）のいる世帯	38世帯
その他の世帯	139世帯
合計	1,461世帯

25. 見守り支援推進事業

様々な生活課題が地域に山積している中、ひきこもりに焦点を絞り、ひきこもりの家族の方がリフレッシュ出来ることを目的としたサロンを実施しました。

・「ほっとサロン」実施状況

延べ開催数	10回
延べ参加者数	9名

26. 在宅福祉サービス

(1) 介護保険サービス

サービス種別	営業日数	実施状況	
居宅介護支援	243日	延べケアプラン作成数	1,451件
通所介護（デイサービス）	243日	延べ利用者数	2,272人

(2) 介護保険外サービス

サービス種別	開所日数	実施状況	
在宅介護支援センター栗須	365日	延べ相談件数（訪問含む）	1,332件
在宅介護支援センター鬼石	365日	〃	1,522件

サービス種別	営業日数	実施状況	
通所介護（身障者デイサービス）	243日	延べ利用者数	73人

サービス種別	営業日数	実施状況	
介護タクシー	43日	延べ稼働数	95回

27. 障害福祉サービス事業所さくらの家の事業経営

障害福祉サービス事業所の指定を受け事業経営を行いました。

種別	開所日数	年間利用者数	登録人数	平均工賃（月額）
生活介護事業	241日	2,364人	10人	1,999円
就労継続支援B型事業	241日	2,548人	14人	9,147円